

# SPORTS × ACHIEVEMENT

これまでのSGSC活動実績



国際大会・  
事前合宿・スポーツ  
イベント等の誘致

## — 東京パラリンピック事前合宿誘致

- ウクライナ視覚障がい者スポーツ連盟の合宿視察対応、調印式の実施
- ウクライナ男子ゴールボールチームと市民との交流事業の調整
- 国が推奨する「共生社会ホストタウン」制度への申請補助



▶ウクライナ視覚障がい者スポーツ連盟調印式



▶学校交流(札幌開成中等教育学校・札幌視覚支援学校)

## — 平昌オリンピック・パラリンピック 事前合宿受け入れ

- スウェーデンオリンピック委員会やフランス障がい者スポーツ連盟の合宿視察対応
- 大会期間中、スキージャンプや車いすカーリングなど6カ国11チームの受け入れ(アメリカ、スイス、ノルウェー、スウェーデン、ロシア、韓国)
- 輸送手配やトレーニング施設利用の調整、宿泊施設の手配などをサポート
- 空港でのお出迎えやギブアウェイによるおもてなし



▶車いすカーリング合宿対応

▶フランス障がい者スポーツ連盟視察対応

▶合宿時に伴う輸送サポート

## — アジア地域青少年アイスホッケーリーグ開催支援

- 2018年、香港アイスホッケー訓練学校および札幌アイスホッケー連盟主催によるジュニアアイスホッケー国際交流大会への運営協力
- 2019年には、韓国も加わりアジア地域アイスホッケーリーグとしての大会開催運営をサポート
- 香港チームとの大会に向けた調整や札幌市内ファミトリップの実施



▶アジア地域青少年アイスホッケーリーグ

## — ウィンタースポーツシティブランドの発信

- 平昌オリンピック時、ジャパンハウス内にて札幌・北海道PRブースを開設
- オリンピックレガシーの活用、持続可能性、スポーツを活かしたまちづくりの情報共有を目的とした「スマートシティーズ&スポーツサミット2019」にてランチレセプションの実施
- オリンピック関係者・国際競技連盟や自治体を対象とした、札幌アディショナルトリップ(市内視察)を実施し、オリンピック開催都市としてのレガシーや札幌の魅力を国内外へ発信



▶ジャパンハウス内札幌・北海道PRブース

▶ランチレセプション





## スポーツ ツーリズムの推進

### — 北海道のウィンタースポーツ環境の情報発信 (EXPO、商談会、メディア招請)

- ウィンタースポーツ人口が大幅に増える中国にて、EXPO出展
- ウィンタースポーツの愛好者が多い欧州・豪州にて、スキー場及び観光の最新情報の発信
- 現地の旅行会社、スキークラブとの商談会開催
- 海外メディアを北海道に招請し、スキー環境や食・観光情報を発信



### — 中国メディア向けスキーツーリズムセミナーの開催

- 2017冬季アジア札幌大会期間中に来札した中国メディア向けに開催
- 札幌・北海道のウィンタースポーツビジネスや観光のプロモーションに関するセミナー
- 中国国営放送をはじめ50名の中国メディアが来場
- 新華社通信によるWEB記事が230万回以上の閲覧回数を記録



### — 札幌マラソン・高雄マラソンによるスポーツツーリズムの促進

- 台湾・高雄市視察団の受け入れ対応
- 高雄マラソンにて、阿部雅司氏(1994年リレハンメル大会ノルディック複合団体金メダル)が札幌選手団団長として同行し、イベントブースにて札幌マラソン参加者募集や札幌の魅力やPR
- 札幌マラソンにて、高雄市民ランナー来札受け入れ
- 札幌マラソン・高雄マラソン協定締結のサポート



### — 札幌・北海道におけるスポーツツーリズム促進に向けた調査事業

- 北海道内のスキー場にて、インバウンドを対象としたスキーに関するマーケティング基礎調査
- スキーマーケティング基礎調査を元に、スキー経験者・ヘビーユーザーに向けた調査事業
- 海外のEXPO出展時にて、北海道の認知度や消費動向の調査
- 札幌に訪れたインバウンドを対象とした、観光地などのサイクリングに伴う基礎調査
- 2017冬季アジア札幌大会などを含む大会にて、観戦客や参加者・関係者を対象にスポーツファン層の拡大や次回大会の発展に向けた基礎調査



## スポーツ ボランティアの 運営・管理

### — スマイル・サポーターズ

札幌・北海道を中心とするスポーツイベントの運営を支援し、地域に根ざしたボランティア活動を応援。スポーツボランティア「スマイル・サポーターズ」に登録後、マラソンランナーへの給水、選手・観客の誘導、多言語の会話補助などスポーツイベントでのボランティアをお願いしています。

- 登録者数 1,133人(2020年2月現在)

- 31件の大会・イベントの活動、研修会を4回開催し、参加人数は延べ950名を超えた(2018年度実績)

- 若年層のボランティア拡大のため、札幌市内の大学を中心とした学生へ普及啓発

- 会報誌「With Smile」を毎月発行しアスリートやスポーツ情報を発信

